



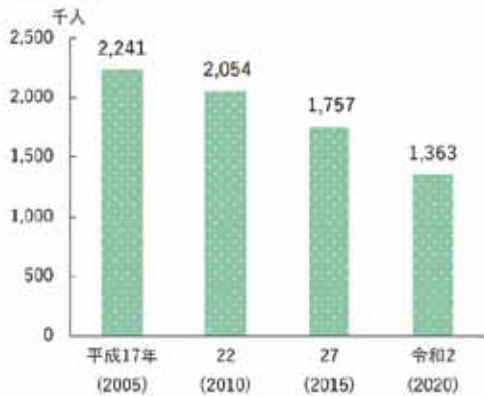
新しく農業を行う方への 助成や補助は

角田 龍仁議員

新規就農お祝金100万円を交付

産業建設部長

図表 特-1 基幹的農業従事者数



資料：農林水産省「農林業センサス」、「2010年世界農林業センサス」(組替集計)
注：1) 各年2月1日時点の数値
2) 平成17(2005)年の基幹的農業従事者数は販売農家の数値

▲基幹的農業従事者数の推移

問 若年層をターゲットとした対応策として、市内の高校の生徒や小中学生などに「どうしたら農業がやりたくなるか」などを調査しては。
答 市内の農業を学ぶ高校生だけでなく、農業に対する若者の率直な意見を聞くことは、新規就農のきっかけになると思わ

問 新規就農し国の経営開始資金の補助金を受ける方
答 市単独補助として、新規就農し国の経営開始資金の補助金を受ける方

問 本市の過去10年間の農業従事者の推移は。
答 農林業センサスの基幹的農業従事者数は、平成22年は2746人、令和2年は1463人と減少傾向にある。
問 本市の農業従事者の年代別割合は。
答 農林業センサスの基幹的農業従事者数の年代別の割合は直近の令和2年のデータでは、

15歳から29歳が0.82%、30歳から39歳が3.28%、40歳から49歳が9.09%、50歳から59歳が12.58%、60歳から69歳が26.72%、70歳から79歳が31.03%、80歳以上が16.48%。
問 新しく農業を行いたいと思う方への助成や補助は。
答 市単独補助として、新規就農し国の経営開始資金の補助金を受ける方

に対し、新規就農お祝い金として100万円を交付する。また、愛知県、あいち海部農業協同組合と本市で就農相談を実施しており、就農準備や経営サポート体制もとっている。
問 農業に関する本市の取り組みは。
答 農業に従事している人に対して、カメムシ防除対策事業補助金や産地パワーアップ事業費補助金を交付。小学生に対しては、出前講座で食農教育を実施している。

れるので、対応策について研究していきたい。
問 市として農業体験マッチング制度の導入の考えは。
答 耕作放棄地問題の解消の手段として、効果的なものであると考える。先進地への聞き取り等を行うことにより、情報収集など研究を進めていきたい。